

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮南高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の目指す精神「明朗」「礼節」「向上」を「大南マインド」というキーワードで示し、学校内外に丁寧に説明することにより、浸透させている。生徒の学力や進路の実態等、学校の現状に応じた適切かつ明瞭な学校像となっており、生徒・保護者などの期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度に喫緊の課題として浮き彫りとなった防犯対策や急な天候変化への対応を検討し、「安心・安全」という文言が加えられた。学校の状況を踏まえ、学校の取り組むべき課題を明確に示し、目指す学校像の実現に向けて重点化された適切な目標となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年シートを改訂し、重点目標達成のため教職員全体が参画する取組の工夫が進められている。評価項目と方策の連鎖がやや不十分なところがあるので、分掌・学年等の連携を図り、よく議論しながら、より具体的な方策について検討・策定する体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	手帳を活用した時間管理や生徒の心に火をつける！高校生キャリアアップ&学力アップ推進プロジェクトの導入などの方策が、適切に策定されている。評価指標がやや抽象的であるので、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は改訂した分掌・学年シートを活用して組織力を高め、今年度から中間進捗を把握して実効性のある進行管理に努めるなど、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を持って組織的・計画的に教育活動に取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートや授業評価アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に丁寧に分析・考察して有効に活用し、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			